

# 学校教育の充実について

橋本 徹議員

**質問** 平成24年度より中学校に武道が必修科目として取り入れられましたが、その成果について伺います。

**答** 男女ともに武道を行うようになり、日本の伝統文化の再認識や、礼儀、所作、相手を敬うことなど、心の教育にも大いに役立っていると考えております。

**質問** 東京オリンピックの追加競技として、武道でもある空手が選ばれましたが、本市の中学校に空手部がない理由や、中学校で活動できる場について伺います。

**答** 空手を指導できる教員も少なく、県中体連専門部に空手道がないことも要因の一つのようです。

学校行事や総合的な学習時間などで、日本の伝統文化継承として空手道を披露できる場等が考えられます。

**質問** 平成32年度から小学校5・6年生に英語が正式科目として加わりますが、幼児を対象とした英語教育活動について伺います。

**答** 今年度より、公立幼稚園5園におきまして英語で遊ぶ活動を開始いたしました。ALTの話す英語のシャワーを浴びながら、身体を動かしたり、歌を歌つ

たり、ゲームをしたりする活動を中心に行っています。

**質問** 挨拶と掃除を徹底し、自分たちの通う学校を明るくきれいにすることによって、子どもの心を育て、学校内をいじめが起りにくい空間にすることができるとは考えますが、その見解について伺います。

**答** 挨拶や掃除を進んでするということは、望ましい生活習慣や公共心の育成等、とても有意義なことであります。いじめをしない、

させないという風土づくりにとっても役立つ取り組みであると考えております。

**質問** 「ゼロトレランス理論」を取り入れた校則についての考えを伺います。

**答** 日本の教育は、児童生徒を罰則で縛るのではなく、心を耕し育てることが求められているため、いささか適合しない部分もありますが、いじめによる自殺者が出るなど深刻な状況が続く中、毅然とした対応で臨みたいと考えております。

# 当市の消費実態と見直し及び対策について

斉藤 貢一議員

**質問** 1998年に群馬県が行った買物動向調査によると、当市の地元購買率は84・6%で、県内4番目の高さでしたが、その後、近隣へのイオンの進出や、キンカ堂の撤退等が消費動向に大きな影響を与えていると思われま。商店街に対する当市の施策は継続的に

行われていますが、住民のニーズと商店街の抱える問題とはマッチしていない気がします。当市がどういう消費動向にあるのかを数値で知ることは大切だと思いますので、市独自の買物動向調査を行う考えについて伺います。

**答** 県では98年以降、買物動向調査は行っておりませんが、商業振興や経済活性化の基礎資料になるものと考えております。本市としては、隔年で景況調査を実施し、市内事業所の景況感や経営上の問題などを把握していますが、本市独自の買物動向調査につきましては、今後の検討課題とさせていただきますかと思っております。

**質問** 市内での外食産業における消費は、年間約54億円が見込め、麺11グランプリの開催など当市の麺文化も内外に発信しています。が、外食産業に対して、当市の特化した施策と補助事業を、特に組合加盟店等に向けて実施していく考えについて伺います。

**答** 今後も継続して外食産業のPRに努めてまいります。また、外食産業に特化した施策等につきましては、今後の事業展開に応じて検討させていただきます。と考えております。

**質問** 人を引き寄せる魅力を考えると同時に、それに

定住の促進にもつながりますので、制度の見直しを検討したいと考えております。